都営地下鉄、23年度に黒字転換見込む 3カ年の経営計画

#東京

2022/2/15 19:13

東京都交通局は15日、2022年度から3カ年の経営計画案を公表した。都営地下鉄は新型コロナウイルスの影響で足元では経常赤字が続くが、地下鉄利用者向けのポイントサービスの拡充や沿線地域の独自商品を扱う販売店舗の新設などで、23年度の黒字化を目指す。ホームドアの整備や浸水対策も進める。

コロナによる在宅勤務拡大などで地下鉄利用者は減っている。感染が広がった20年度の経常損益は146億円の赤字に転落し、21年度も「赤字が確実」（担当者）という。ワクチンの3回目接種などで利用者数の回復を見込み、23年度は85億円の黒字になるとした。

駅の安全性向上にも取り組む。23年度中に浅草線の全駅でホームドアを設置する。都営地下鉄の全駅での整備が完了する。車両更新に合わせて車内の防犯カメラ設置も進める。22年度中に通風口の浸水防止機設置などの整備計画を策定する。

また、三田線は一部の編成を6両から8両にするほか、新宿線は全てを10両編成にする。いずれも22年度に実施する。